

高橋 孝二さん（昭和40年卒）

北上市 市議会議員

◇お仕事の内容を教えてください

北上市の市議会議員で、現在8期目（29年目）を務めています。なお、初当選は1992年です。

市民・住民の幸せと、公共の福祉の向上のために行動するとの信念のもと、法令等に基づいて「税金（市民税等）」の「徴収」及び税金全体（国税・県税・市税）の「使い方」について、公正・公平にチェックを行うほか、予算全般にわたって全議員で構成する「議会」で「議論」をして「議決」するという仕事を行っています。

また、必要に応じて行政政策の提言も行っています。なお、議員の任期は一期4年です。



◇仕事を通じどんなことに喜びを感じますか

これまでの具体的な取組をいくつかあげると

- ・インターハイ誘致を積極的に訴え、その後、岩手県で初めての「スポーツ都市宣言」を提言し実現。その後の国体を始め国際大会の開催や多くの全国レベルの大会の開催に繋がっている。
- ・国の予算支援制度が発足する前から北上市独自でエアコンの設置促進（現在進行中）を提言した。
- ・洋式トイレへの切り替え促進の進言を行い、現在進行中。
- ・納税者から間違って税金を多く徴収したときに、還付することについて、関係法律では5年間だけだが、全国にあまり例がない時に、北上市独自で実質20年間遡って還す規定を提言し実現。

このように、自分の考えや市民・住民（高校生を含む）と一緒に考えて「よりよい北上市のまちづくり」に参加出来ることが誇りであり、自分の存在感を得ることが出来ます。

そして、提言・進言したことが実現していくことに大きな喜びを感じることが出来ます。

◇将来の夢を教えてください

『夢を持つ』ことは日々の生活が充実しとても楽しいことです。が、『夢を実現させる』ことはもっと楽しいことだと思います。夢を実現させるためには『覚悟と志を持つ』ことが大事です。自分の気持ちが惰性にならない限り現役でいたいと考えています。

◇専大北上高校ではどんな高校生活を過ごされましたか

クラブ活動（卓球部）では卒業式少し前まで続けました。学校の授業よりも、公務員試験の受験勉強に集中しました。当時、某先生は授業中でも大目に見てくれました（時効？）。

◇専北生に伝えたいメッセージは何ですか

『人は生きるために生きる どう生きるかは 貴方の心次第』と伝えたいです。

具体的には、、、

- ①本を読んでほしい。偉人・賢人・奇人・変人、何でもよく、『先人の言葉』に触れて欲しい。
- ②一人でも多く支え合える友人をつくって欲しい。

③外国旅行をして欲しい。

④『出会いは自分を変え、行動は社会を変える』・『挑戦はドラマを創る』・『未知との遭遇は最大のチャンスだ』・『準備に勝る成果なし』・『自分が行うもの差は善悪で、社会の出来事は損得で計れば見える』

また、国・県市町村、どこでもよいので政治の世界にトライして欲しいですね。

☆取材後記

74歳という年齢でありながら、熱い思いで市議会議員の重職を担い続ける高橋さん。

自らの人生経験を踏まえ、「先のことをあれこれ考えるよりも先ず、動け！ そのほうが楽しく生きられる！」と語られます。

専北生と卒業生に向けて、多くの素敵なメッセージを頂きました。

いつまでもお元気でご活躍下さい。(担当：Y)